

第4回は、大川奈奈さん(桜川市)のご紹介です！

桜川市の地域おこし協力隊としても活躍している大川さんは、今年3月に茨城むらまちネットに入会しました。今年度は総会や交流会が実施できず、皆様とお顔を合わせることができていませんが、どうぞよろしくお願いいたします。

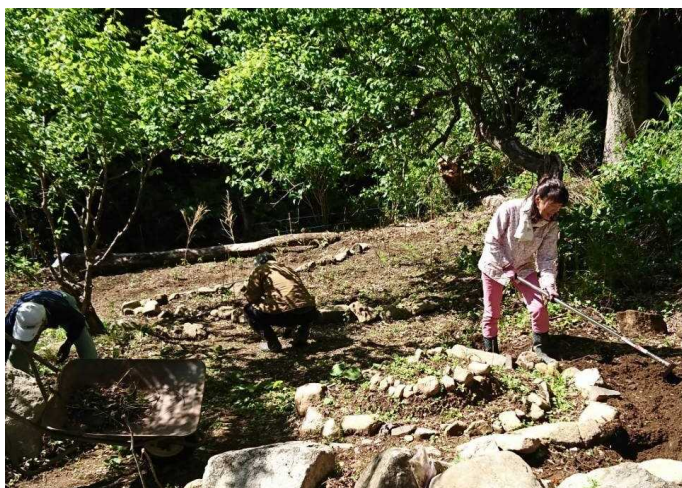
大川さんは、春の「ヤマザクラの里ぶらりハイキング」や軽めのサイクリング開催、岩瀬駅を始点・終点としたハイキングコースの設計や「いきいき里山 友蕎庵」(予約制のお蕎麦屋さん)での「里山学校」の活動などをされています。



また、桜川市内において、グリーン・ツーリズムの拠点となる場所との連携を図るために、どんなことができるのか、といった意見交換などもされているそうです。

大川さんからは、「会員さんが活動されている場所にお邪魔したり話を聞いて、いろいろ参考にさせていただきたいです」とのメッセージをいただきました。

また、茨城県を周回して楽しめる企画も作っていったら、とのことで、ぜひ県内各地のむらまちネット会員さんとつながっていただき、活動の輪を広げていただければと思います。



編集・発行



茨城むらまちネット事務局
(茨城県農村計画課)

TEL:029-301-4264

Email: nokan4@pref.ibaraki.lg.jp

先日、県内各地を回り、地域ぐるみで農地や周辺環境の維持・保全活動を行っている方々からお話を伺う機会がありました。

特に中山間地域においては、農業従事者の減少・高齢化が顕著で、後継者のいない集落もあります。そのような中でも、「先祖から受け継いだ土地を自分たちが守っていく」「今できることをやっていく」というお話を各地で聞き、美しい農村景観があるのはこうした方々の長年にわたる努力によるものだ、と頭の下がる思いでした。

農業に限らず、農村文化や祭りなどの存続・継承も厳しいものがあります。ライフスタイルが変化する中、こうした営みを続けていくのは難しいのかもしれない。だからこそ、グリーン・ツーリズムは、里山や農村への理解を深めるものとして、ますます重要な役割を担っていくのではないかと思います。

茨城むらまちネット
事務局から